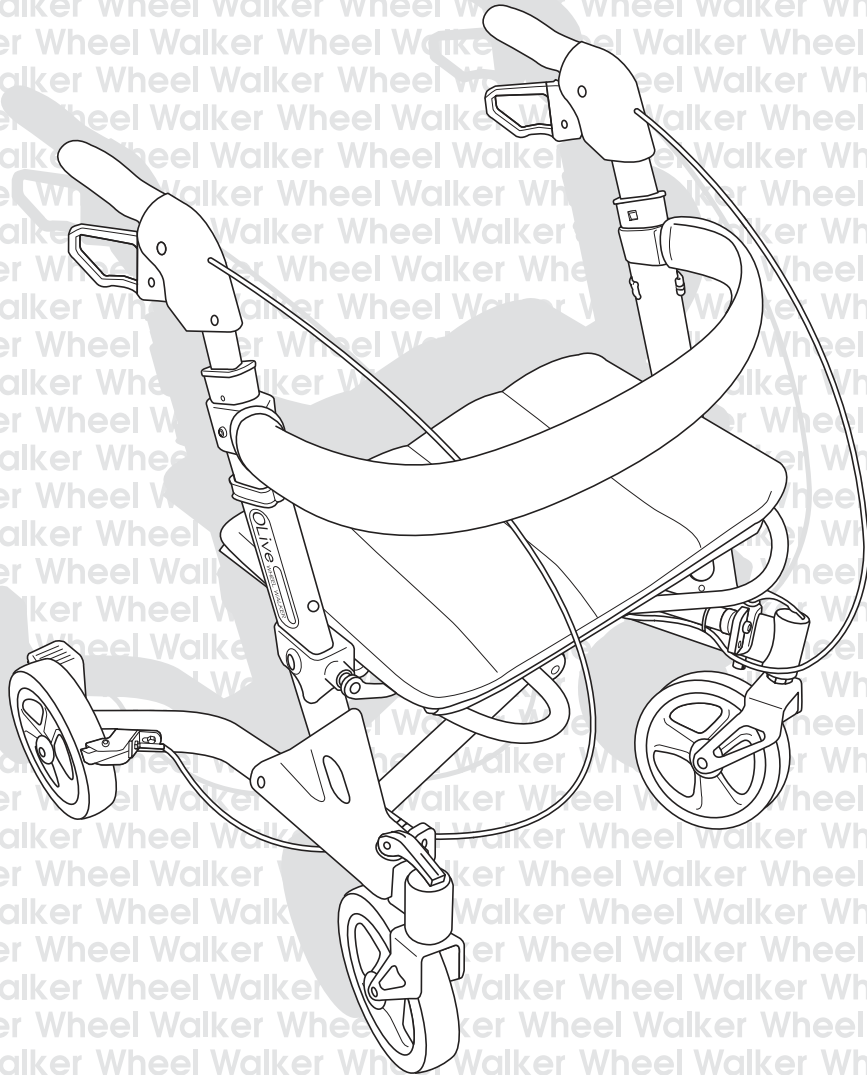
マツナガの歩行器

OLive

取扱説明書

保存用
保証書付

愛の輪
愛のいす
MATSUNAGA

2006.6

このたびは、（株）松永製作所の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様が安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に、必ずお読みください。
また、保証書が付いておりますので、紛失しないように大切に保管してください。

- お買い上げの製品は改良などによりこの「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または直接弊社までお問い合わせください。

付属品

以下の物が揃っているかご確認ください。

目　次

保管場所

●歩行器を次のような場所には、保管しないでください。故障の原因となります。

■雨に濡れる場所　■直射日光が当る場所　■湿気の多い場所
■高温・低温になる場所　■炎天下になる場所

袋に収納して保管する場合には、泥やほこりをよく落とし、各部が完全に乾いた状態にしてください。
（さび・かびなどの原因になります。）
また、バスケットに物を入れたまま保管しないでください。

安全にお使いになるためのご注意

この製品は使用者自身の歩行を補助するために使用します。次のような方はご使用にならないでください。

- グリップをしっかりと握ることができない方
- ブレーキ操作ができない方
- ハンドル操作ができない方

●表示内容を無視して、誤った使い方をした場合に生じる危険や損害の程度の説明を、下記 シンボルマークで説明しています。使用者または他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示欄は「死亡または重傷にいたる可能性が想定される」内容
⚠ 注意	この表示欄は「損傷に至る可能性または物的損害の発生が想定される」内容

お守りいただく内容の説明

この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。

⚠ 警 告

（禁止）

してはいけない

■荷物の運搬等に使用しないでください。
■故障・異常のある場合には使用しないでください。
■改造をしないでください。
■座面の上に立たないでください。　踏み台として使用しないでください。
■バックサポートを持って持ち上げないでください。
■バックサポートを持って立ち上がらないでください。
■使用者を乗せたまま、歩行器ごと持ち上げないでください。
■雨や風の強い場合、濡れた路面・凍結した路面等滑りやすい場所では使用しないでください。

（強制）

必ずしていただく

■体重制限を守ってお使いください。７５ｋｇ
■歩行器に座る場合は必ず駐車ブレーキを掛け、静止していることを確認してください。
■片方のグリップに体重をかけ座ると転倒する危険がありますので、両方のグリップをしっかりと握り座面の中央に座ってください。
■平坦地でお使いください。
坂道・凸凹や段差・溝のある場所等では使用しないでください

⚠ 注 意

（禁止）

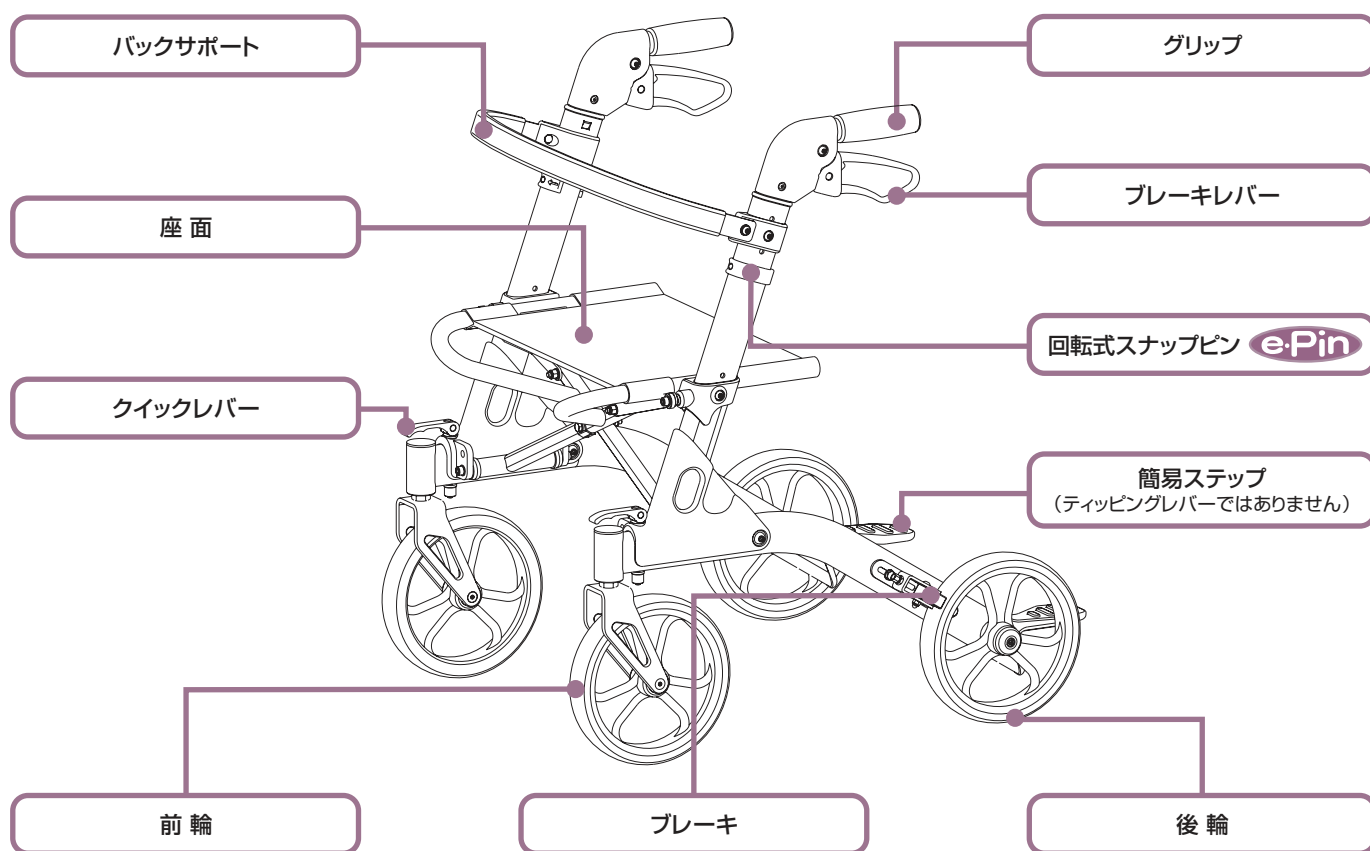
してはいけない

■アンダーバスケットは小物入れ（1kg以内）としてお使いください。重量物を入れると落下する可能性があります。また、貴重品は入れないでください。
■グリップ、バックサポートなどに荷物を吊り下げたりしないでください。
■片手での歩行（操作）はしないでください。
■歩行器をストーブなど火気に近づけないでください。
■歩行器に強い衝撃を加えないでください。
■以下のようなところに放置しないでください。
直射日光のあたる場所、高温・低温になる場所、火気を使用する場所、湿気の多い場所、雨のあたる場所、子供が遊びに使えるような場所、車のトランクの中等

（強制）

必ずしていただく

■取扱説明書をよく読み、操作手順どおりに使用してください。
■点検・整備を行ってください。
各部のボルト・ナット・ビスの緩み、フレーム・パイプの変形、ブレーキのロック、車輪の回転、車輪の傷・磨耗、シートの傷・破れ等

各部の名称

仕　様

使用時 （単位:mm）

仕　様	7インチ	8インチ
全　高	740	750
全　幅	600	
奥　行	685	
グリップ高	740~840	750~850
	（11段階、15mm間隔）	

耐荷重：75kg（積載物含む）
重　量：9.1kg（8インチ仕様）
8.8kg（7インチ仕様）
（バスケット含まず）

折りたたみ時 （単位:mm）

仕　様	7インチ	8インチ
全　高	650	
全　幅	260	
奥　行	760	770

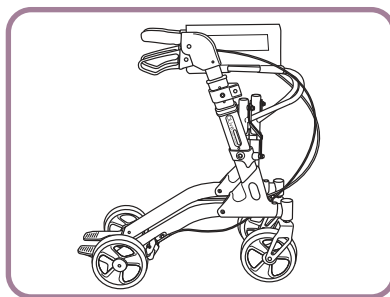
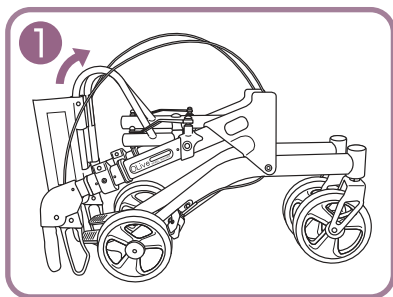
梱包時 （単位:mm）

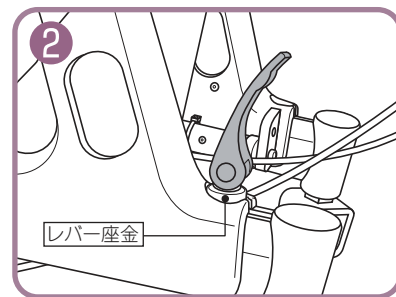
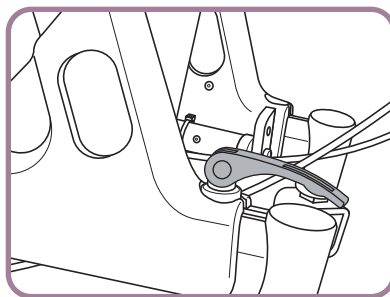
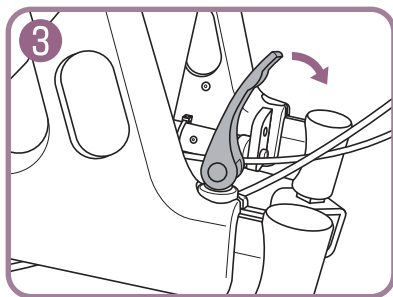
全　高	500
全　幅	300
奥　行	800

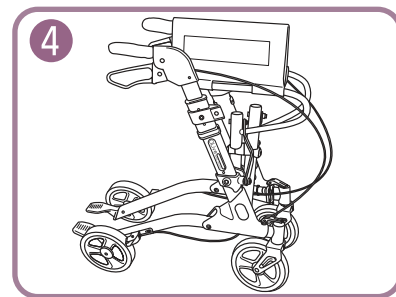
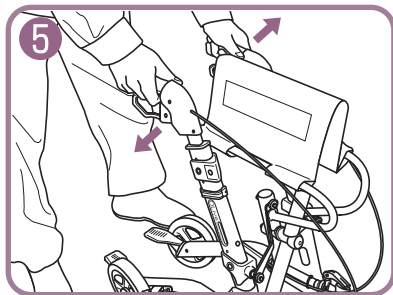
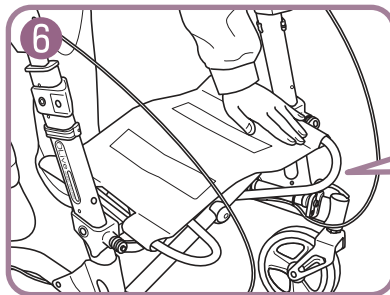
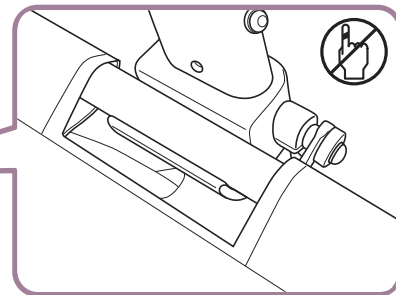
安全にお使いになるための使用方法

組み立て方

●製品を初めてお使いになる場合は、下記の手順に従い組み立ててください。
　また、長期間使用しない場合や、車のトランクに積む場合にはコンパクトに折りたたむことが可能です。

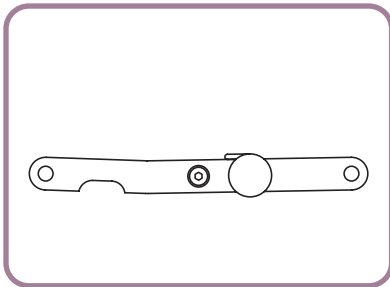
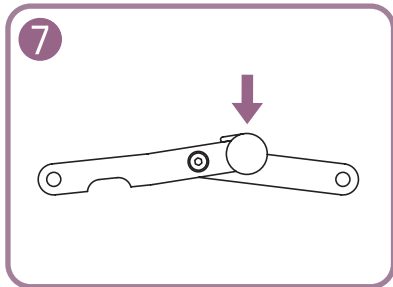
❶ 左右のフレームを起こします。

起こした状態

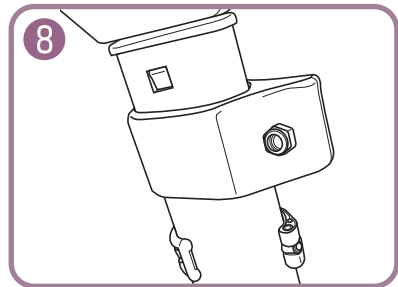
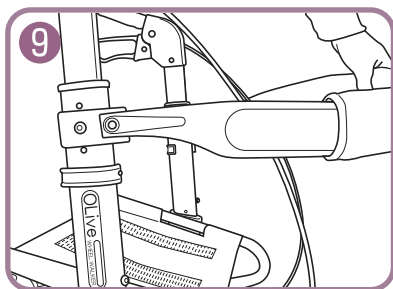
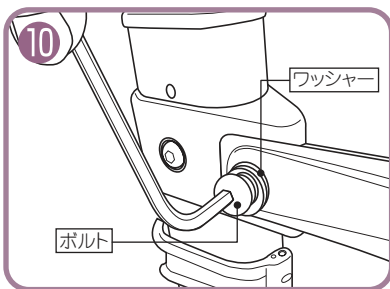
❷ クイックレバーのナットを外し、本体に取り付けます。このとき、レバー座金を凹部にはめてください。

❸ ナットを軽く締めレバーを倒します。このとき、レバーが倒れない場合はナットを少し緩めます。
簡単に倒れる場合はレバーを戻し、ナットを少し締めてもう一度レバーを倒してください。

倒した状態

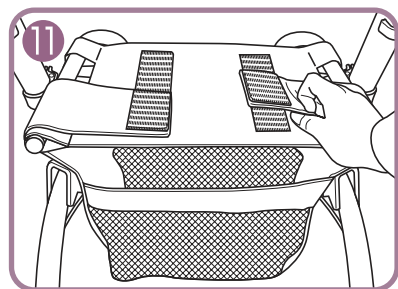
❹ 左右両方に取り付けた状態

❺ フレームを広げます。

❻ 座パイプが座パイプ受けにはまるまで
下に押してください。

指をはさまないように注意

座パイプ受け

組立後に次の確認をしてください。

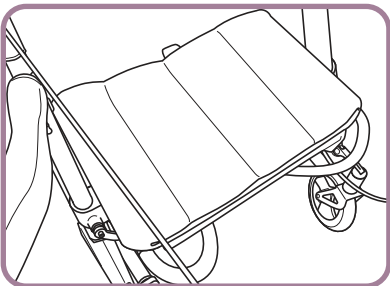
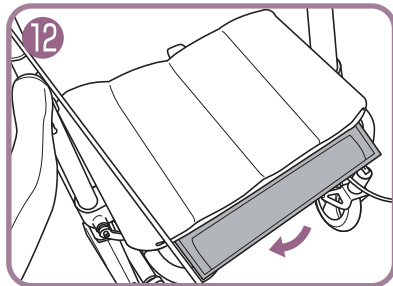
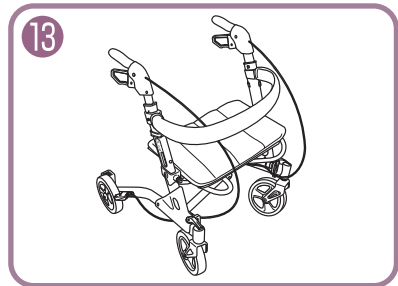
● 制動ブレーキが利くか？（P.10参照）　● フレームにがたつきがないか？
● 駐車ブレーキが利くか？（P.10参照）　● 車輪の回転は滑らかか？

❼ 座面下にあるアンダーロックを下げます。

ロックした状態

❽ 付属のナイロンナットをバックサポートホルダの六角穴にはめこみます。

❾ バックサポートカバーをバックサポートに通し、バックサポートホルダに取り付けます。

❿ 付属のボルトにワッシャーを通し、付属の工具で締めます。

＊ 適正トルク　4Nm

⓫ アンダーバスケットを座面のマジックテープに貼りつけます。

⓬ 座クッションを座面のマジックテープに貼りつけ、前方を座面下へ折り返します。

取りつけた状態

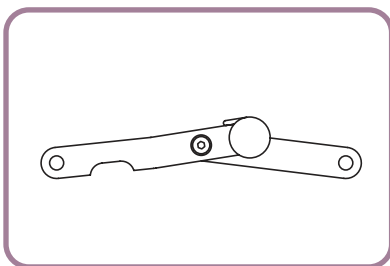
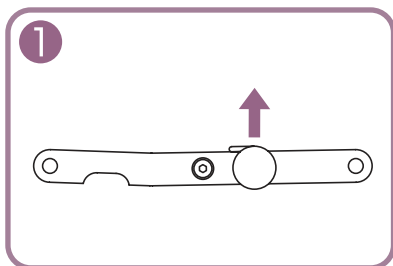
⓭ 完成状態

●組み立て後は各部の点検を行ってください。

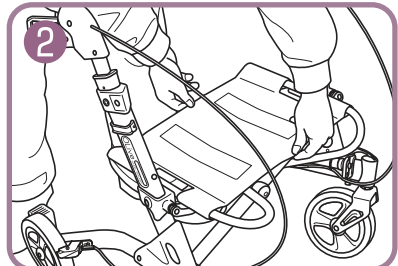
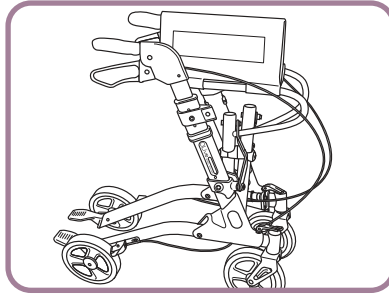
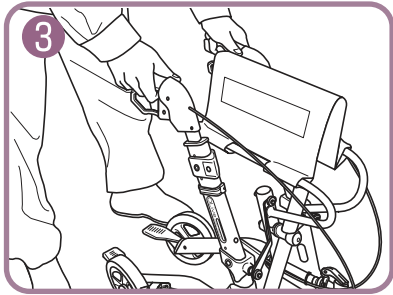
していただく

折りたたみ方

通常の折りたたみ

●簡単な操作で幅が狭くなりますので、しばらくの間使用しない場合に便利です。

❶ 座面下にあるアンダーロックを解除します。

解除した状態

❷ 座シートの前面と後面の中心を同時に持ち上げます。

❸ 左右のグリップを持ち内側に寄せます。

折りたたんだ状態

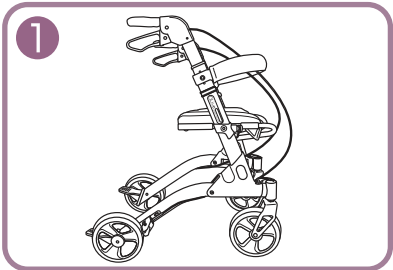
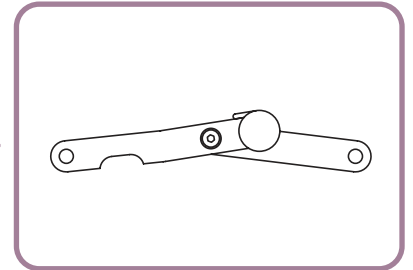
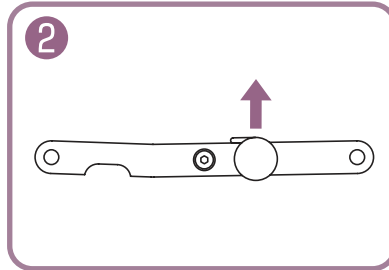
●拡げる場合は、組み立て方（P.4,5）の ❺〜❼の手順で行ってください。

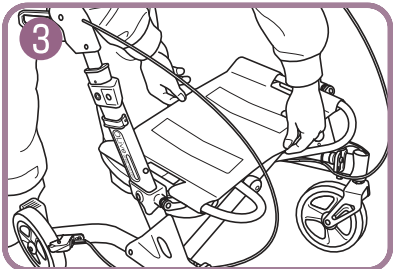
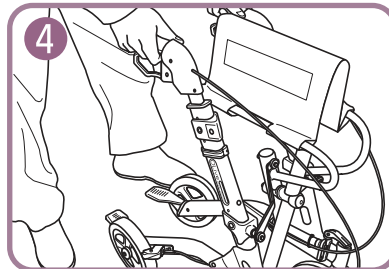
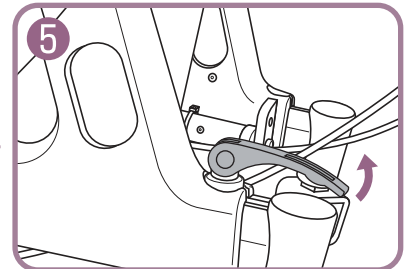
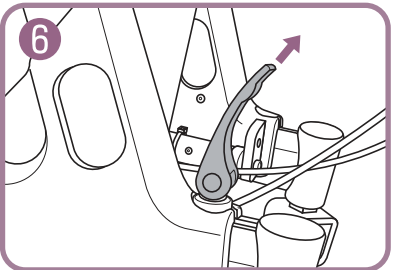
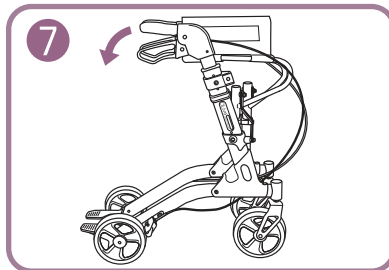
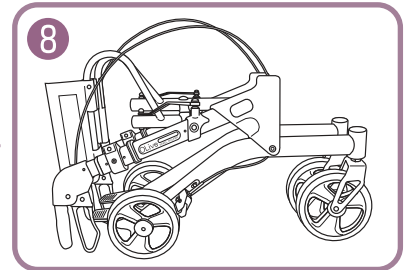
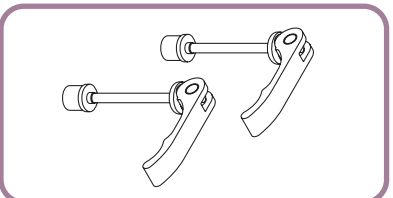
⚠ 注 意
●袋の中に物を入れたままにしないでください。 保管する場所に気をつけてください。（P.1参照）

してはいけない

コンパクトな折りたたみ

●長期間使用しない場合や、車のトランクへ収納したい場合には非常にコンパクトになり便利です。

❶ 左右のグリップ高さを一番短くします。（P.7参照）

❷ 通常の折りたたみと同様に、座面下にあるアンダーロックを解除します。

解除した状態

❸ 座シートの前面と後面の中心を同時に持ち上げます。

❹ 左右のグリップを持ち内側に寄せます。

❺ クイックレバーを起こします。

❻ ナットを緩め、クイックレバーを取り外してください。（左右共）

❼ 左右のフレームを倒します。

❽ 折りたたんだ状態

取り外したクイックレバーは無くさないように、してください。本体に取り付けておくことをおすすめします。

⚠ 注意	●袋の中に物を入れたままにしないでください。 ●無理な力を加えないでください。 破損の原因になります。

してはいけない

⚠ 注意	●保管する場所に気をつけてください。（P.1参照） ●作業中に手や指をはさんだりしないように注意してください。

していただく

ハンドルの高さ調整

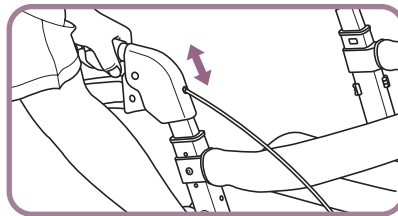
●体格や使用状況に応じて、ハンドル（グリップ）の高さが変更できます。

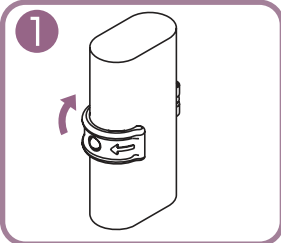
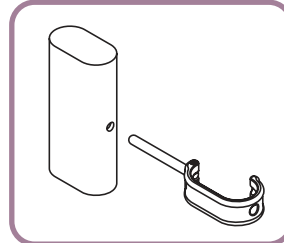
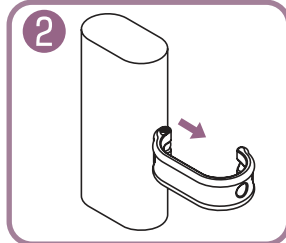
8インチ仕様	…750mm~890mm	15mm間隔 11段階に調整ができます。
7インチ仕様	…740mm~880mm	

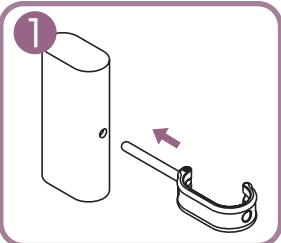
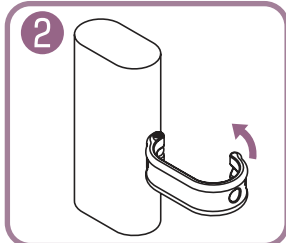
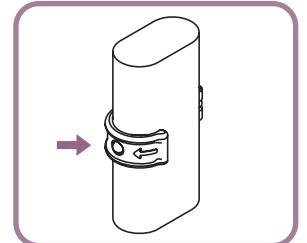
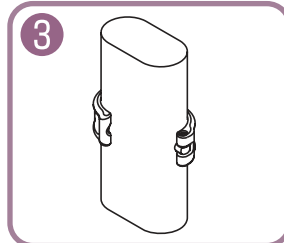
標準的なハンドル高さの合わせ方

本体後輪のほぼ中央に立ちます。
肘を少し曲げた位置にグリップの高さを合わせてください。
平坦で安全な場所で試用し、必要があれば調整しなおしてください。

高さ調整の方法

❶ e-Pin（回転式スナップピン）を外します。
❷ ハンドルの高さを変更し、適当な高さに
一番近い穴の位置を合わせてください。

❸ e-Pinを取り付けます。

e-Pinの取り外し方

❶ 指を引っかけて回転させます。
❷ 引き抜きます。

e-Pinの取り付け方

❶ パイプの穴を合わせてピンを挿入します。
❷ 奥まで挿入したら「くるっ」と回転させます。
❸ 反対側の穴にピンの頭が出ていることを確認します。

⚠ 注意
●e-Pinがしっかりとはまっているか確認してください。
ハンドルの高さが急に変わり、転倒する恐れがあります。

していただく

●ハンドルにがたつきがないか確認してください。

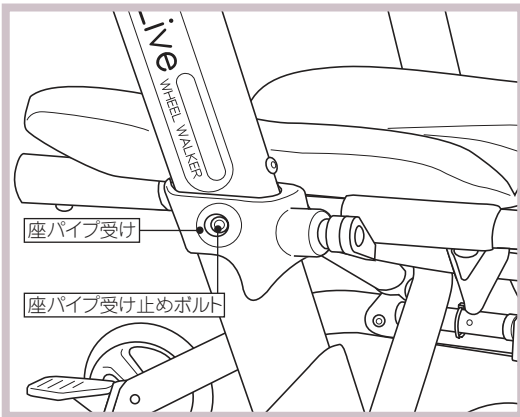
していただく

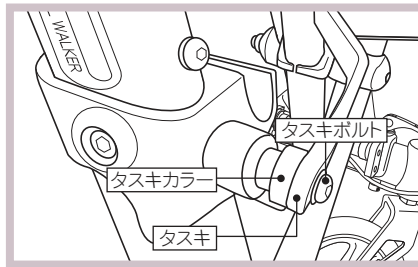
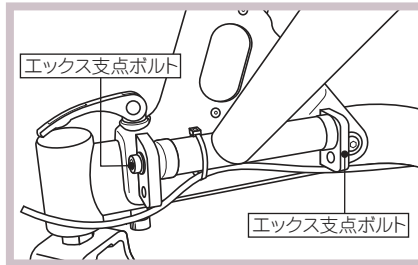
座面の高さ調整

使用工具	・対辺5mm六角レンチ 2本　・対辺4mm六角レンチ

●体格や使用状況に応じて、座面の高さが変更できます。

8インチ仕様 …下穴時 **450mm**、上穴時 **470mm**
7インチ仕様 …下穴時 **440mm**、上穴時 **460mm**
の2段階で調整ができます。

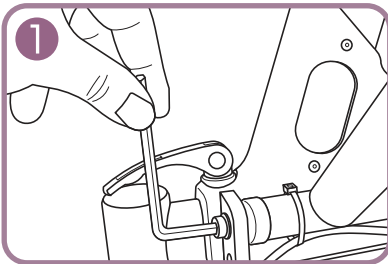
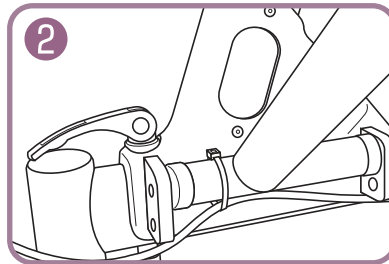
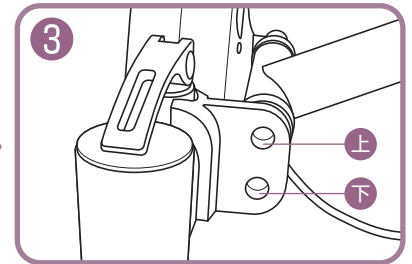
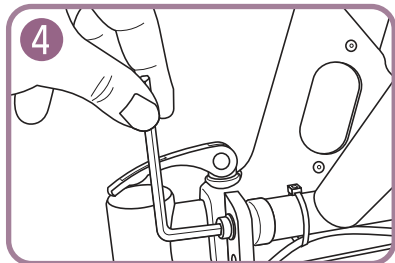
座面の各部名称

＊ 適正トルク　4Nm
使用工具
・対辺4mm六角レンチ

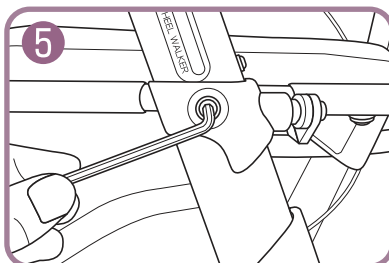
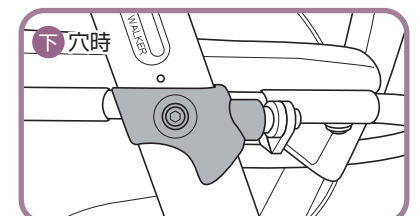
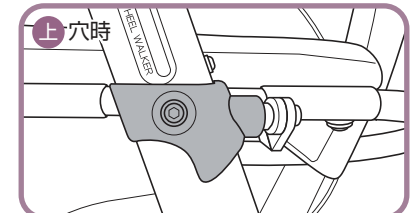
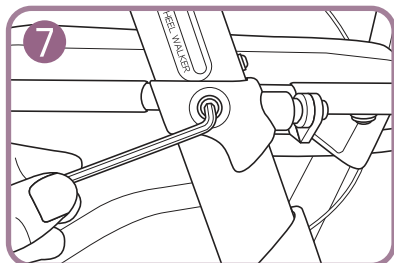
タスキボルト
タスキカラー
タスキ

＊ 適正トルク　7Nm
使用工具
・対辺5mm六角レンチ

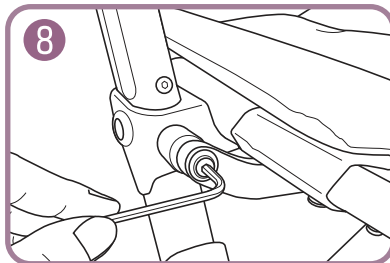
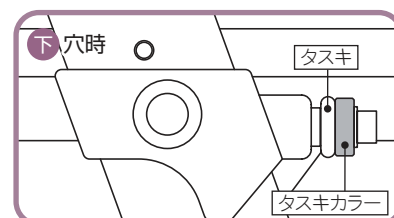
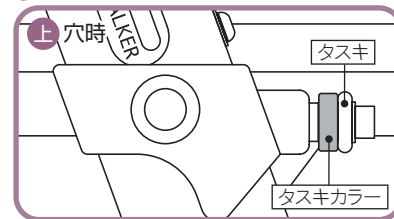
裏側

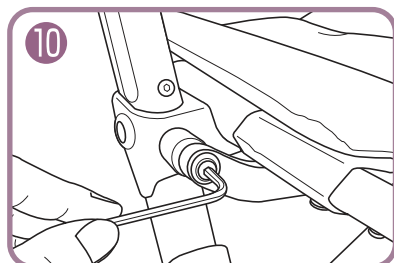
＊ 適正トルク　8Nm
使用工具
・対辺5mm六角レンチ

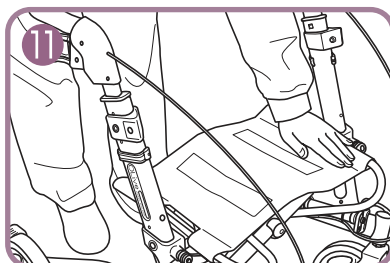
座を完全に広げた状態では作業しにくくなります。少し広げた状態で作業してください。

❶ エックス支点ボルトを外します。（前後どちらか一方のボルトを外します。）

❷ シャフトを引き抜きます。

❸ 希望する位置へシャフトを挿入します。

❹ ボルトを締めます。

＊ 適正トルク　8Nm

❺ 座パイプ受け止めボルトを外します。

❻ 座パイプ受けの位置を変更します。

❼ ボルトを締めます。

❽ タスキボルトを外します。

❾ タスキカラーの位置（順番）を変更します。

＊ 適正トルク　4Nm

❿ タスキボルトを締めます。

⓫ 座面を広げ、座が完全に下りることを確認してください。

＊ 適正トルク　7Nm

⚠ 注 意

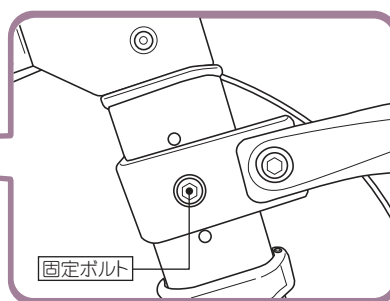
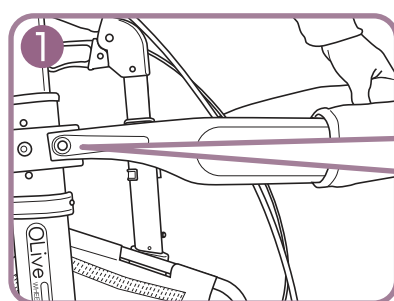
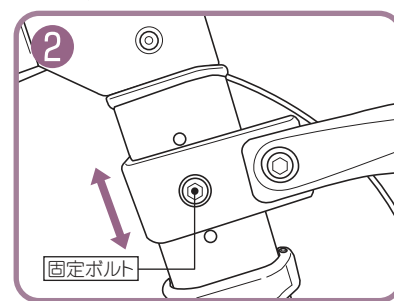
- ●ボルトの締め忘れがないか確認してください。
- ●フレームにがたつきがないか確認してください。

していただく

バックサポートの高さ調整

使用工具	・対辺4mm六角レンチ

●体格や使用状況に応じて、バックサポートの高さが3段階に変更します。

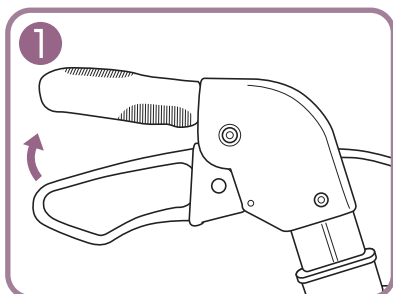
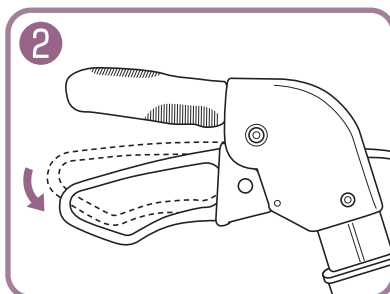
❶ 固定ボルトを取り外します。

❷ 高さを変更して、ボルトを締めてください。

＊ 適正トルク　4Nm

注意

●しっかり固定されているか確認してください。
高さが急に変わり、転落する恐れがあります。

していただく

制動ブレーキの使い方

❶ ブレーキハンドルを握り、レバーを上げるとブレーキがかかります。

❷ ブレーキレバーから手を離すと自然に戻ります。

●使用前にブレーキが利くかどうか確認してください。
ブレーキの利きが悪い場合（P.11参照）

していただく

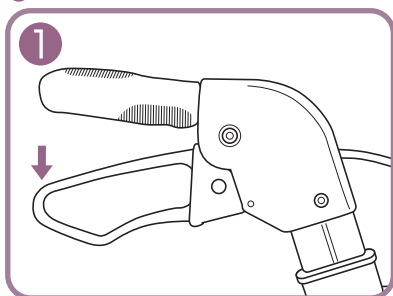
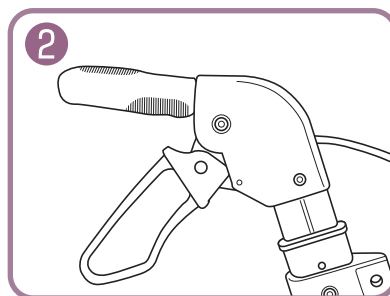
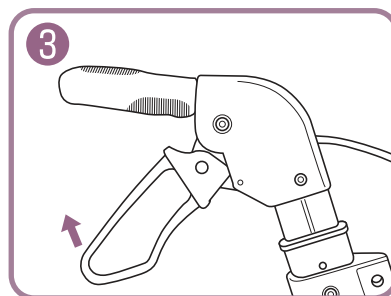
●ブレーキはゆっくりとかけるようにしてください。
急にブレーキをかけると前のめりになり転倒する恐れがあります。

していただく

●左右のブレーキは均等な力でかけてください。
バランスを崩し、転倒する恐れがあります。

していただく

駐車ブレーキの使い方

❶ ブレーキレバーを押し下げてください。

❷ ロックした状態

❸ ロックを解除する場合にはレバーを引き上げてください。

●使用前にブレーキがロックするかどうか確認してください。
ブレーキがロックしない場合（P.11参照）

していただく

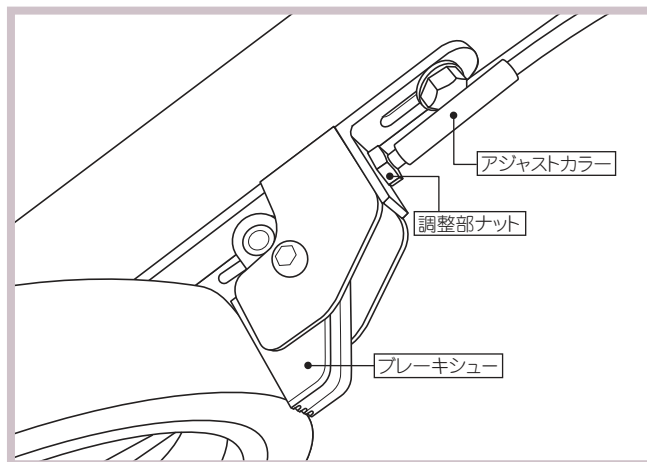
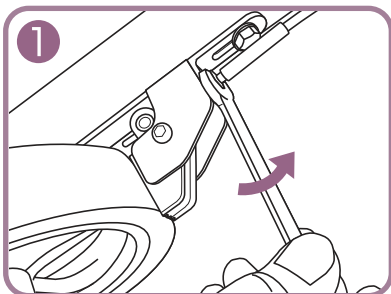
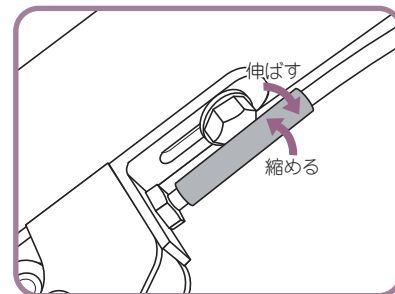
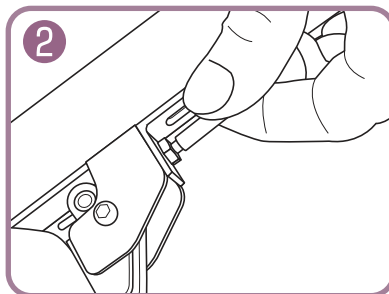
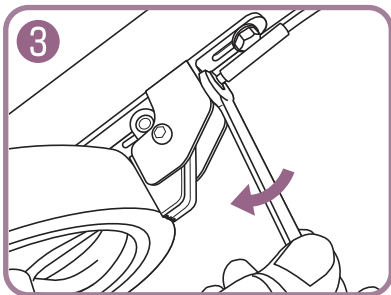
●座る前には必ず駐車ブレーキをかけ、ロックしていることを確認してください。
本体が動き転倒する恐れがあります。

していただく

ブレーキの調整

●ブレーキの利きが悪くなってきた場合には下記手順に従い調整してください。
なお、必ず平坦で安全な場所で行ってください。
ブレーキの調整ができない場合や、ご不明な点がありましたら、お買い求めいただいた販売店、または（株）松永製作所までご連絡ください。
（ご自身での調整に自信がない場合には無理に調整を行わずご連絡ください。）

ブレーキ部の名称

ブレーキの調整は歩行器を広げた状態で行ってください。
また、ワイヤーが引っかかったり、よじれたりしていないか確認してください。

❶ 調整部のナットを緩めてください。

❷ アジャストカラーを回転させ調整します。伸ばす方向（左方向）に回すとブレーキの利きが強くなります。

❸ ナットを締めます。

伸ばす方向 … ブレーキの利きが強くなります。

縮める方向 … ブレーキの利きが弱くなります。

●ご使用前に必ずブレーキ（制動&駐車）の利きを確認してください。

していただく

歩行の仕方

❶ 後輪の中心付近に立ちます。

❷ 駐車ブレーキを解除します。（P.10参照）

❸ 両手でグリップをしっかりと持ちます。

❹ バランスを保ちゆっくりと歩いてください。

⚠ 注 意

●背ベルトなどのグリップ以外の場所を持って歩行しないでください。

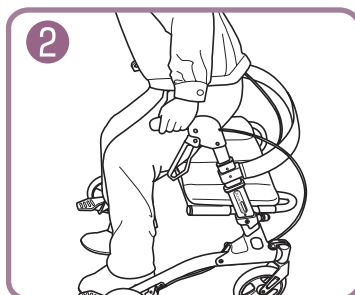
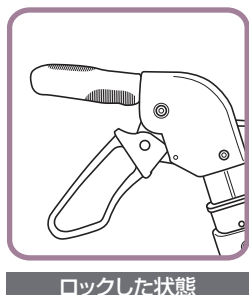
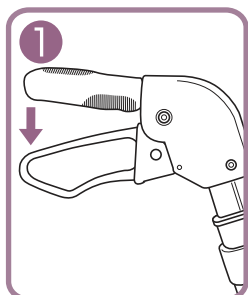
してはいけない

座り方（座面の使用方法）

●使用者（歩行者）が疲れた場合に、腰掛けとして使用することができます。

❶ ブレーキをロックします。
（駐車ブレーキの使い方P.10参照）

ロックした状態

座った状態

立ち上がるときも、グリップをしっかりと握りながらゆっくりと立ち上がってください。

⚠ 警告

●必ずブレーキをロックし、歩行器が動かないことを確認してから、座ってください。
（歩行器が動き出し、転倒する恐れがあります。）

●平らで安全な場所で座るようにしてください。

●片方のグリップに体重をかけ座ると転倒する危険がありますので両方のグリップをしっかりと握り座面の中央に座ってください。

していただく

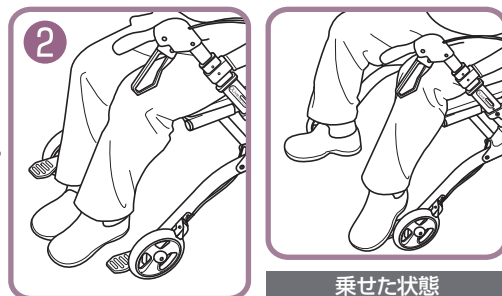
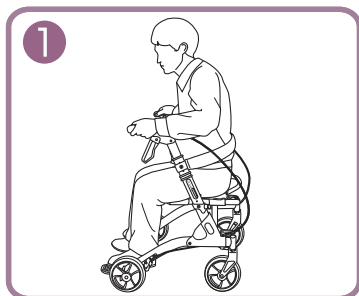
簡易ステップ（フットサポート）の使い方

●使用者（歩行者）が疲れた場合など、介助車として使用することができます。

❶ 使用者が座面に座ります。
（座り方参照）

❷ 簡易ステップに足を乗せます。

乗せた状態

❸ 介助者は、ブレーキを解除し、歩行器を押し進めます。

⚠ 警告

●歩行器にしっかりと座っていることを確認してください。
（バランスを崩して転倒する恐れがあります）

●介助者は絶えず使用者、周囲を確認し、ゆっくりと操作してください。

●凸凹、濡れた路面、坂道では使用しないでください。

●段差では一度、使用者が歩行器から降りて乗り越えるようにしてください。
（歩行器に乗ったまま段差を乗り越えないでください）

●歩行器に乗った状態で、歩行器ごと持ち上げないでください。

●簡易ステップの上に立ち上がらないでください。
（転倒してケガをする恐れがあります）

していただく

●ティッピングレバーではありませんので、段差を乗り越える場合は歩行器ごと持ち上げてください。

してはいけない

点検・整備＆お手入れの方法

●各部の緩み、ずれ、ねじれ、傷、破損を点検し、異常があれば修理してください。

●車輪の亀裂、損傷、磨耗を点検し、使用限度を超えたものは交換してください。

●シートの破損、糸切れを点検し、使用限度を超えたものは交換してください。

●試用して点検、確認し、異常音、走行違和感がある場合は調整してください。

●泥やほこりは、水または中性洗剤で洗い流し乾いたタオルなどで拭き取ってください。
洗う際にはベアリングや可動部に水が入らないように注意してください。
洗車後は、各可動部に潤滑油をつけてください。ベアリングにはグリスを使用してください。

●また、袋に収納する際には、泥やほこりをよく落とし、各部完全に乾いた状態にしてください。

保 証

●保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。

1. 火災、天災による故障・損傷の場合
2. 取扱説明書に記載の使用方法・ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
4. キャスターの磨耗・シートの破れなど消耗品や各部の劣化による故障・損傷の場合
5. 修理に要した運賃等の諸経費
6. この保証書は日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または(株)松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。